

男体山山行報告

【山行日】2022年 6月 29(水) 晴れ

【集 合】栃木市運動公園 P AM 6:00

【費 用】マイカー1台 : 2,300円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL:廣瀬

飯口、石澤、嶋田、鈴木ヒ、福島、藤原ト

【コースタイム】栃木市運動公園 P6:00＝

二荒山神社 P7:00/7:20～四合目 8:20/8:30～

七合目 9:30～男体山 11:15/12:00～七合目

12:50～四合目 13:40/13:50～二荒山神社

14:35/14:50＝栃木市運動公園 P16:05



6月12日(日)の男体山山行が中止になり、

「北アルプス山行に向けて男体山山行を計画してほしい」と要望があり平日山行で計画した。

平日山行にもかかわらず多数の申し込みがあり、8名で栃木市運動公園を出発する。予定通り二



荒山神社Pに着き、準備を整えトイレを済ませたら中宮の社務所で受付をする。志納金

1人1000円を納め、お守りと地図をいただき出発する。本殿右側にある門をくぐって表

参道を進むと、一合目の遥拝所に着く。

ここからは樹林帯の中の登山道を登るようになり、幾筋か付けられた登山道の歩きや

すい道を選んで登って行く。二合目、三合目を越えると工事用の車道に出て、しばらく車

道を歩くと鳥居が立つ四合目に着く。休憩して衣服調整や水分補給を行い、鳥居の前で

記念写真を撮って出発する。鳥居をくぐると急な登山道になり、鉄パイプの手すりに助けられながら

登って行く。しばらく登ると粗末な小屋が建ち、五合目に到着する。この先しばらく登ると樹林が切

れて、急峻なガレ場を登るようになり振り返ると眼下に中禅寺湖が見えるようになる。六合目で

小休止し、ゼリーや菓子をいただきエネルギーを補給する。ここから八合目までは岩場の登りが連続し、登り易いルートを探しながら登って行く。岩場の登りに慣れない人は苦戦し、直ぐに離れてしまうので待ちながら登って行く。八合目の滝尾神社で小休止し、トマトや菓子を食べて疲れた足を休める。岩場が終わると赤茶けた滑りやすい登山道になり、滑り止めの土嚢を歩いて行く。九合目の先の展望が良い場所で休憩し、冷たいプリンを食べて力をつけ山頂を目指す。

記念写真を撮って出発する。鳥居をくぐると急な登山道になり、鉄パイプの手すりに助けられながら

登って行く。しばらく登ると粗末な小屋が建ち、五合目に到着する。この先しばらく登ると樹林が切

れて、急峻なガレ場を登るようになり振り返ると眼下に中禅寺湖が見えるようになる。六合目で

小休止し、ゼリーや菓子をいただきエネルギーを補給する。ここから八合目までは岩場の登りが連続し、登り易いルートを探しながら登って行く。岩場の登りに慣れない人は苦戦し、直ぐに離れてしまうので待ちながら登って行く。八合目の滝尾神社で小休止し、トマトや菓子を食べて疲れた足を休める。岩場が終わると赤茶けた滑りやすい登山道になり、滑り止めの土嚢を歩いて行く。九合目の先の展望が良い場所で休憩し、冷たいプリンを食べて力をつけ山頂を目指す。



ここからは細かい火山礫のザレた登山道になり、グズグズの砂礫に足を取られないよう慎重に登っ



て行く。大きな岩の脇を過ぎると上方に鳥居が見え、鳥居をくぐると男体山山頂の奥宮に着く。奥宮に参拝したら右奥の大剣に向かい、途中のベンチにザックをデポして大剣が立つ岩に登る。

大剣の前で記念写真を撮り、一番高い場所から展望を楽しむ。山頂からの展望は素晴らしく、眼下には中禅寺湖から戦場ヶ原が望め、女峰山や太郎山の家族が指呼の間に聳える。日光白根山や尾瀬の燧ヶ岳、会津の山々が見渡せ、素晴らしいの一言に尽きる。展望を楽しんだらベンチまで戻ってランチタイムとする。お湯を沸かし各自持参したカップ麺やスープなど作り、出汁巻き卵や唐揚げ、キンピラや漬物が並び豪華なランチをいただいた。お茶を飲んだら後片付けをして、奥宮の西側に立つ二荒山神像にお参りし下山開始する。真っ青な中禅寺湖に向かって下るのは爽快で、ザレた登山道をジグザグにテンポ良く降りて行く。登りで

は辛かった道も下りはルンルンで、アツという間に八合目の滝尾神社に着き小休止する。ここからの岩場はルンルンとはいかないが、慎重に下れば問題なく下れる。四合目の日陰で最後の休憩を取り、残ったおやつを全て食べ水分を補給したら出発する。三合目までの道路歩きは会話も弾み、北アルプス山行に向けて少し自信を持てたようだ。二荒山神社まで無事下山し、トイレを済ませて靴を履き替えたら帰路につく。予定より早く栃木市運動公園に帰着し、北アルプス山行に向けてのトレーニング山行が無事終了した。

